

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公表番号】特表2005-524400(P2005-524400A)

【公表日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2005-032

【出願番号】特願2004-501619(P2004-501619)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 0 1 H 1/00 (2006.01)

A 0 1 H 5/00 (2006.01)

A 0 1 N 63/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 0 1 H 1/00 A

A 0 1 H 5/00 A

A 0 1 N 63/02 E

C 1 2 N 5/00 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

本明細書で用いる場合、「TR2'プロモーター」はAgrobacterium由来のTR1' - TR2'二重プロモーター要素(Valtenら、1984年; Langridgeら、1989年)のTR'2 (またはmasと略記されるマンノピン合成酵素)機能部分を含むプロモーターに関する。即ち、これはTR2'要素を単独または別種TR1'要素(Guevara-Garciaら、1988年)もしくはエンハンサー領域、イントロン等を含むがこれらに限定されないその他(制御)要素とを、本発明による創傷誘導プロモーターの特性が実質的に維持される範囲で組合せて含むことができる。本発明の好適実施態様では、TR1' - TR2'二重プロモーター(またはTR2'プロモーター要素を保持するその一部分)を使用する場合でも、転写はTR2'プロモーター領域から始まる(即ちコーディング領域はTR2'プロモーター配列と作動性に連結し、その下流に位置する)。最も具体的には、ここに使用する場合には、TR2'プロモーターは、ヌクレオチド番号1~336の間のヌクレオチド位置からヌクレオチド位置483までの配列番号1番の断片を含む、好ましくは配列番号1のヌクレオチド96~483の配列を含む、最も好ましくは配列番号1またはその機能的均等物、即ち植物、より具体的には単子葉植物での創傷誘導発現を支配できるその修飾物を含むプロモーター領域を表す。かかる機能的均等物としては、少なくとも配列番号1のヌクレオチド328~483を含むヌクレオチド配列(TR2'プロモーター要素を含む、Valtenら、1984年)に実質同一である配列が含まれる。かかる配列は各種Agrobacterium株から単離できる。あるいはかかる機能的均等物は、配列番号1のヌクレオチド328~483の少なくとも約25、好ましくは少なくとも約50または最大100個の連続するヌクレオチドを含むオリゴヌクレオチドプライマーを用いて、ポリメラーゼチェーンリアクション反応で増幅できる配列に相当する。TR2'プロモーターの機能的均等物はまた配列

番号 1 の配列のヌクレオチドを置換、付加、または欠失することにより獲得でき、その中には配列番号 1 の機能的 T R 2 ' 部分を含むハイブリッドプロモーターも含まれる。かかるプロモーター配列は部分または完全合成できる。